

2018年3月18日(日)

10:00-18:00

早稲田大学

戸山キャンパス 32号館 128教室

第7回
東京精神分析サークル
コロック

主催：東京精神分析サークル、早稲田大学大学院文学研究科表象・メディア論コース

精神分析 の 真と知

10:00 開会の辞 (向井雅明)

午前の部 [研究発表]

10:15 片岡一竹 | ローマ講演における精神分析の弁証法的時間性——そのヘーゲル、コジェーヴからの影響

11:15 工藤顕太 | 精神分析革命を待ちながら——死の欲動をめぐるデリダの政治-倫理的問い

12:15 昼休憩 (75分)

午後の部 [書評セッション]

13:30 上尾真道 | サイボーグ・ラカン——真理・身体・享楽をめぐる

14:00 牧瀬英幹 | 精神分析とトポロジー——理論と実践をつなぐ一つの結び目として

14:30 久保田泰考 | 「ニューロラカン」の自閉スペクトラム論——あるいは自閉スペクトラムにフロイトの無意識はあるのか?

15:00 全体討議

15:30 休憩 (15分)

15:45 松本卓也 | 「精神分析的人間」の後で

16:15 河野一紀 | 狂気からデビリテへ——では自閉はどこに位置づけられるか?

16:45 向井雅明 | ラカン派精神分析から見たニューロサイエンス

17:15 全体討議

17:45 閉会の辞 (向井雅明)

18:00 閉会 ※19:30より近隣にて懇親会



参加無料、事前登録不要 (どなたでもご参加できます)

東京精神分析サークル | cercle-psyanalytique.com